

# グランプリ受賞で報告

## モリショウGが知事に

モリショウグループの森山和浩代表取締役社長らほ  
さきに、県庁を訪れ、「脱炭素チャレンジカップ2021」で環境大臣賞グランプリを受賞したことを広瀬勝貞知事に報告した。（受賞記事は2月27日号既報）  
受賞者を代表して森山社長が「名誉ある環境大臣賞



賞状を手にする森山社長

をいただいた。地域代表としても大分県代表としても大変誇りに感じる。今後、これをゴールとして考えずに、また新たな環境意識への取り組みを社員一丸となって地域と連携しながらチャレンジしたい」と話し、オンライン開催の中で使用した動画を広瀬知事に

問題、脱炭素社会の実現は当然のことながら、災害に強い山づくりも、後世に遺す環境づくりとして取り組んでいる」と話した。  
広瀬知事の「グループの仕事の仕分けは」という質問には「日本フォレストはチップの加工、グリーン発電大分は電気をつくる発電

紹介した。  
さらに「われわれモリショウグループとしては、一つの発電所を核として環境



天瀬のグリーン発電所

むためには、われわれの企業が健全な経営体制をとおかないと持続可能なチャレンジはできない。今後、も環境とビジネスの両立をしっかりとしながら地域と連携していく」と抱負を述べた。

所、日田グリーン電力は電気をお客様に販売する」と、各社の役割分担を説明し「5年後、10年後、20年後も環境問題に積極的に取り組

広瀬知事は「地球環境問題は未永く安定的でなければならぬ。頑張ってきた」と激励した。なお、今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで開催された。  
受賞内容は、日田市と近郊で育った木材を燃料とし

たバイオマス発電で市内の小中学校などに電力を供給する「電力の地産地消モデル」を中心に、間伐材や流木などを燃料としてリサイクルするほか、将来の森林資源の確保を見据えて種苗センターを開設するなど、材の安定供給と林業家に収入への寄与を図っていることだ。

【又モ】モリショウグループは、(株)モリショウ、日本フォレスト(株)、(株)グリーン発電大分、日田グリーン電力(株)の4社で構成される。

(渡邊)

2021年3月18日 (木)  
大分建設新聞 1面